

柘植地域

まちづくりだより

第293号

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)



発行日

〒五一九一四〇二
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三
2023(令和5)年6月1日(木)

柘植地域俳句コーナー
薯の芽へ

雲の影とぶ

小半日

北田 美智代

令和5年度第2回『役員会』開催

5月9日(火)18時から今年度第2回目の『柘植地域まちづくり協議会・役員会』が開催されました。

冒頭、宮田会長から、柘植まち協20年の歩みの総決算と、次ステップづくり「持続可能な全員参加のまちを目指して」まちづくり施策の概要、並びに方向性の説明がありました。

主たる議事は、令和5年度第1回『地域自治推進会議』へ5月2日・支所大会議室にて開催の事項内容説明でしたが、特記事項として左記の行事が実施されます。

▼『空き家対策』増加する「空き家」問題をどうするか「空き家相談会」へ伊賀市空き家対策室にて様々な相談を受け付け中。

▼『夏の全国交通安全運動』7月11日(火)～7月20日(木)

【街頭啓発】支所管内主要交差点にて実施

7時半～午前8時半(期間初日と最終日)

※初日は「広報車巡回」します。

▼『枯れ草の火災多発中』・『消防署東分署』からお願いとして、柘植地域にて

枯れ草火災や林野火災等が頻発しており、稲わら焼却・あぜ焼き・たき火等が原因で「焼却中にその場を離れる」「消火が不十分」といった人為的な要因や、風向きの急な変化(強風)などの気象状況により発生。

▼『不動産登記制度の見直し』相續登記の申請の義務化(令和6年4月1日施行)従来、相續登記の申請は「任意」とされておりましたが、「義務化」する事で、所有者不明土地の発生を予防する事が趣旨です。正当な理由無く義務に違反した場合、10万円以下の過料適用対象となります。

▼下段に令和5年度・柘植地域まちづくり協議会の新たな「役員」を紹介致します。

前列中央が宮田隆司会長(73歳)、右隣から堀田穂副会長(72歳・生活環境部会長)、安岡昌子副会長(69歳)、会長左隣が土屋正孝副会長(70歳・区長)、宮田勉副会長(71歳・副区長)、後列左側が服部聖子会計



(64歳)、右側が清水則雄センター長(69歳事務局長)以上7名宜しくお願い致します。



令和5年度第2回『12区連絡協議会』を開催しました。

本年度第2回目の『12区連絡協議会』(区長会)を5月12日(金)午後6時から市民センター・ホールにて開催しました。

主要議事は、9日開催済の『役員会』に於ける事項書に準拠。冒頭、『平川砂防事業』に関して此れ迄の経緯・現況及び今後の工事日程等々、三重県伊賀建設事務所から説明が有りました。へ立って説明中の青い上着の3名が流域課の職員。

「土砂災害防止法」に則って土砂災害から人命を守る為、土砂災害の恐れのある区域(警戒区域・特別警戒区域)を明らかにし、土砂防止工事等のハード対策と併せて警戒避難体制の整備や一定の開発行為の制限等ソフト対策を推進しようとするものです。

平川の基礎調査を行った結果、土砂災害に拠る危害の恐れが有る土地の区域【イエローゾーン】に指定されたのが、人家20戸名阪国道・市道・道の駅いが・伊賀SA。更に著しい危害の恐れのある土地の区域【レッドゾーン】として、名阪国道と市道の一部が指定されています。

『各部会員・委員会 参集会』を開催しました。

『12区連絡協議会』終了後の午後8時から引き続き『各部会員・委員会 参集会』を開催致しました。

本会は、区長推薦の各位で、総会構成員に為ります。出席者総数96名と為り、センター・ホールと和室の全室を開放して実施しました。

【議事】

1、宮田会長 挨拶

冒頭、宮田会長よりまちづくり施策の概要と方向性の説明が有り、スローガンとした『持続可能な全員参加のまちになっている』の基、基本方針を表明された次第です。

2、生涯学習支援員(藤本みどり) 紹介

3、第一回目の各「部会」「委員会」の開催日時を確定し其の日に「令和5(2023)年度の各部会・委員会に於ける事業・活動計画概算予算の策定」を行う事とした次第です。

【部会日程】

▼教育文化部会・6月5日(月)19時半～

▼健康福祉部会・6月6日(火)20時～

▼産業交流部会・6月7日(水)19時半～

▼生活環境部会・6月16日(金)19時半～

▼人権同和部会・6月16日(金)20時～

〈於〉人権センター

▼福祉ネットワーク会議・6月20日(火)20時～

4、各部長と委員長を選任

当日の主議事とした5人の部会長、5人の委員長の選出を行いました。左記御紹介致します。(敬称略)

人権・同和部会長	橋本浩信 (58歳)	岡鼻
健康・福祉部会長	増岡茂樹 (73歳)	小杉
生活・環境部会長	堀田穂 (72歳)	下町
教育・文化部会長	増岡一成 (62歳)	小杉
産業・交流部会長	林田一雄 (63歳)	前川
防災委員会事務局長	安岡泰志 (69歳)	野村

人権啓発推進委員長 橋本浩信(58歳) 岡鼻
福祉ネットワーク会議議長 森下泰成(71歳)
小林

スポーツ推進委員長 中川秀紀(65歳) 倉部
公共交通の在り方検討委員長 川口裕司(60
歳) 倉部・・・以上の10氏が代表に就任。
【新任】の方は、増岡一成氏・安岡泰志氏
森下泰成氏の3名、他の方々は留任です。



令和5年度第一回『運営委員会』

5月24日(水) 今年度第一回目の『運営

委員会』をセンター・ホールにて午後8時
から開催致しました。

主議題とした、令和5年度第一回の『定期
総会』は、4年振りに対面参加形式で、5
月31日(水)午後8時からセンター全室を
開放して開催する事と為りました。(過去
3年間は、コロナ禍に尽き「書面表決」)

上記写真は当日冒頭に撮影した部会長・
委員長の集合写真です。前列左から、林田
氏・堀田氏・森下氏、後列左から川口氏・
増岡一成氏・橋本氏(他の3氏は所用の為
欠席、後日別途御紹介します。)

【柘植駅を利用しましょう】

『柘植駅を守る会』 松山 隆治

柘植駅はJRでは無人駅として扱われて
いますが、伊賀市の要望を受けて地元有志
により『柘植駅を守る会』を組織し、業務
受託を受けております。

近年は駅業務・人員確保の困難さにより、
平日(月々金)開業に限られていましたが、
一応の人員確保に目途が尽き此の4月から
月々土の開業となっています。

皆様御存知の通り、柘植駅は89年(明治
23年)2月、三重県で最初の駅として開業
しました。

余談ですが、その際に「加太トンネル」
掘削の技術者として柘植地域に寄留して居
たのが、「横光利一」の父親の梅次郎です。

乗ろうJR! 買おう切符を!

今、JR西日本では乗車効率の悪い路線
(関西本線、等)について、廃止及び業務
(経営)変更等を検討する体制に入ってい
ますが、地域として歴史有る「柘植駅・関
西線」を守る為に何が出来るか共に考えて
頂きたい思います。

例えば、大阪・天王寺方面へ年に3回行
くとすれば、1回はJRをご利用して頂き
ますようお願いいたします。

前段に記載しましたが、現在月々土(朝
7時~午後4時)開業ですが、その時間外
にお出かけ(柘植駅出発)の場合は前売り
切符をお買い求めください。(前売り乗車
券は一ヶ月前から購入することが出来ます)

「つげの小さな図書館」のご利用と
書籍の御寄贈を!

柘植駅の待合室には「つげの小さな図書
館」を設置し、皆様にご好評賜りご利用頂
いています。「つげの小さな図書館」は、
いがまち図書室の移転に依り発生した図書
やまち協役員や篤志家の御寄贈により運営
しています。設置してから約1年、「杜の
カフェ・いこいこ」とも書籍の交流(循環)
を行っています。一部マンネリにもなっ
てきましたので、皆様からの御寄贈(不要
になった書籍)を希望致します。以上

左が「つげの小さな図書館」今回御紹介する(下段)徳永龍雄さんが「看板」(木製・イラスト絵画付)を作成されました。



【様々な特技を持つ柘植の人々】

《第2弾》 徳永龍雄さん

埼玉県上尾市から、6年前に柘植へ移住して来た徳永龍雄さん(68歳)一家。平で、カフェ「こげら文庫」を経営されて居ます。徳永さんは震災を機に、関東での生活に不安を覚えた事と、生活環境の良い所で子どもを育てたいとの思いで、伊賀市の空き家

バンクで見つけた築・百数十年の蔵付きの古民家に一目惚れ。豊かな自然と交通アクセスの良さ・地元食材を使った安全安心な学校給食、水がとても美味しかったことも決め手になったとの事です。絵と工作が得意な徳永さん「つげの小さな図書館」に増設する「本棚」を現在製作してくれて居ます。(左が塗装前の本棚)



◆◇柘植保育園の園児たちが来所◆◇

5月25日(木)柘植保育園から年長組(6歳児)の子どもさん18名がセンターに来所。ジャンボカボチャの苗を取りに来てくれました。二人の先生に引率され、元気一杯の様子を下の写真です。初めて開催した昨年は、奥出園長が「ハロウィンの馬車」にJ・カボチャを載せて出品されました。



★☆☆お知らせ☆☆★

▼【ジャンボカボチャコンテスト】

昨年に引き続き、今年も開催します。詳細は後日「回覧」等で御案内します。

▼『部会員・委員会』【公募】の件

「部会」と「委員会」の会員を公募します。応募される方はセンター迄お越し下さい。

★☆☆編集後記☆☆☆は、紙面の都合上、当月は、割愛させて頂きます。悪しからず御了承願います。(清水)